

(教育・湖東同時)

資料提供



提供年月日：平成 29 年(2017)年 3 月 3 0 日

所属名：工学部電子システム工学科

(工学部地域ひと・モノ・未来情報研究センター)

担当者：教授(センター長) 酒井 道

電 話：担当教授 0749-28-8382

：事務担当 0749-28-8351

E-mail：sakai.o@e.usp.ac.jp

滋賀県立大学に、ICTを活用した地域課題解決のための研究拠点
「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」を新たに設置します！

1. 地域ひと・モノ・未来情報研究センターの概要

滋賀県立大学では、平成 29 年 4 月 1 日より、地域の皆様と共に ICT 化手法による地域課題解決に取り組む研究開発拠点として工学部に「地域ひと・モノ・未来情報研究センター」を設置します。

同センターでは、滋賀県の歴史・文化・伝統を基盤として、3K(環境・健康福祉・観光)などをターゲットに、それらの多様な情報を高度情報通信技術によって解析・連携・共有化して、その成果として安心・安全な社会モデルを「滋賀モデル」として提案し、全国への発信を目指してまいります。

また、数理モデル・情報解析能力を習得した学生の養成や、地域産業・地域問題解決へ向けた社会人養成・学び直しなど、地域の ICT の中核を担う人材の育成も目指してまいります。

2. 地域ひと・モノ・未来情報研究センターの目指す研究内容

本センターでは「ICT(情報通信技術)」を核に据えた取り組みとするため工学部に設置して取り組みを進めてまいります。環境科学部・人間文化学部・人間看護学部というそれぞれ異なった特色の学部を持つ本学の特色を生かし、それぞれの学部の枠にとらわれない連携・学部横断的な研究・教育を進めていくことを目指しています。

<研究テーマの例> ※実際の研究テーマは今後研究者間で調整・決定してまいります

- ・スマート農業・・・精密農業による生産管理、ドローンによる画像診断・生育データの取得、熟練農業者の作業経験のデータベース化など
- ・スマート観光・・・VR(仮想現実)やAR(拡張現実)を用いた新たな観光情報の提供、センサーを利用した観光客の動向の把握、データ分析による観光資源の発掘・開発など
- ・スマート看護・・・データベース活用による予測・予防医療の高度化、ネットワーク・タブレット端末を利用した訪問看護の効率化など

※詳細は別添資料をご覧ください。

2. 地域ひと・モノ・未来情報研究センターの開所式について

平成 29 年 4 月 3 日（月）に同センターの開所に伴う式典を開催いたします。

日 時：平成 29 年 4 月 3 日（月） 12：00～12：20

※設立は平成 29 年 4 月 1 日ですが、年度の始業日である平成 29 年 4 月 3 日（月）に式典を行います。

場 所：滋賀県立大学 工学部棟前（C4 棟前）

内 容：理事長挨拶

工学部長挨拶

センター銘板除幕式

事業紹介・センター長挨拶

3. 地域ひと・モノ・未来情報研究センター設立記念シンポジウムについて

平成 29 年 5 月頃にセンターの設立を記念したシンポジウムの開催を予定しております。

詳細が決まり次第お伝えいたします。

以上